

◆平成28年度敦賀港湾事務所合同安全大会を開催しました◆

平成28年8月26日(金)、福井県坂井市三国町の「港のホテル」で、敦賀港湾事務所の敦賀地区と福井地区合同の安全大会を、北陸地方整備局、福井労働基準監督署及び工事安全協議会会員企業の約70名の参加により、工事現場における安全意識の高揚を図ることを目的に開催しました。

当所大下所長の開会挨拶、港湾空港部田室工事安全推進官による「平成28年度港湾工事等安全対策」についての報告の後、福井労働基準監督署高橋副署長による「現場の安全管理」をテーマとした安全講話を受講しました。



質問する参加者



北陸地方整備局(港湾空港部)の報告

講話の後、参加者による意見交換、DVD「海上作業の安全(安全のキーワード“基本”)」を視聴し、敦賀港湾事務所安全宣言を確認し、大会は終了しました。

北陸地方整備局の安全に対する取組や講話での「現場の安全管理は整理整頓から始まること、特に整理・整頓・清掃・清潔の4Sが重要であること」など工事における安全に対する意識がより一層高まりました。

◆平成27年度完成優良工事等の事務所長表彰式を行いました◆

平成28年7月27日(水)敦賀港湾事務所会議室において、平成27年度完成優良工事等の事務所長表彰式を行いました。

事務所優良工事として「敦賀港(鞠山北地区)防波堤築造工事(その2)」を完工した株式会社半澤組が事務所長表彰を受賞しました。当該工事は、敦賀港鞠山北防波堤、延長約120mにおいて消波ブロック4tを982個据付けし、防波堤の完成断面へと仕上げるもので、据付した消波ブロック982個の内、825個は当該工事で製作しました。

敦賀港の第一線防波堤である鞠山北防波堤を敦賀湾中央部まで延伸した防波堤の先端部での作業であり、航路にも近接した船舶往来の激しい現場環境であったが、現場周辺海域への事故防止に万全を期して作業を行い、無事故無災害で完工させたことなどを評価し表彰したものです。

また、優良工事における下請業者として、消波ブロック製作及び据付におけるクレーン作業を評価し、株式会社安田建設を表彰しました。

表彰式には、「株式会社半澤組代表取締役半澤政丈様、常務取締役半澤政人様」「株式会社安田建設専務取締役安田泰也様、常務宇野順二様」が出席され、大下所長より表彰状が渡されました。

表彰後、大下所長からの祝辞に続き、受賞者代表の半澤政丈代表取締役より表彰にあたっての謝辞がありました。



表彰された方々との記念写真



●発行
国土交通省 北陸地方整備局 敦賀港湾事務所
所長・副所長(事務)・総務課・品質管理課
工務課・企画調整課・保全課・沿岸防災対策室
〒914-0065 福井県敦賀市松栄町2番43号
TEL:0770-22-2590 FAX:0770-21-8101
福井分室 副所長(技術)・海岸課
〒913-0037 福井県坂井市三国町黒目24字32
TEL:0776-82-1125 FAX:0776-81-7003

敦賀港湾事務所ホームページ
<http://www.tsuruga.pa.hrr.mlit.go.jp/>
北陸地方整備局 港湾空港部ホームページ
<http://www.pa.hrr.mlit.go.jp/>
「海とみなとの相談窓口」全国共通フリーダイヤル
大いに 良くなれ みなと
0120-497-370
※海やみなとに関するご意見、ご感想をお寄せください。

◆将来の建設界を支える担い手へ(福井港海岸)◆

～福井県内3校の学生を招いて、現場見学と意見交換会を開催～



意見交換会の様子

建設界*では現在、少子高齢化の進展に伴い、労働力不足時代の本格的な到来が目の前に予想されます。その中で、建設界における担い手の確保・育成は極めて重要であり、良質な社会資本を国民に提供していくための課題となっています。

このことから、当事務所及び福井港海岸(福井地区)工事安全対策協議会の主催、(一社)日本埋立浚渫協会北陸支部及び福井県港湾建設協会との共催で、平成28年9月20日(火)福井大学・福井工業大学・福井工業高等専門学校の学生(総勢117名、引率先生8名)を招いて、

- ①就職を控える学生に直接的なアドバイス
- ②学生に将来、建設界の担い手になってもらうための魅力発信
- ③将来の担い手である学生が何を感じて何を求めているのかの把握を目的とした、現場見学会と意見交換会を開催しました。

当日は、座学として海岸整備事業の概要・防波堤築造および護岸地盤改良工事の説明を行った後、石油備蓄基地見学、意見交換会の順で行いました。

意見交換会では、「公務員」「建設会社(土木)」「建設会社(建築)」「建設コンサルタント」「女性技術者」と各自関心のあるテーブルに分かれ、質疑応答や意見交換を行いました。

約1時間の意見交換では、「具体的な仕事の内容は?」「学生のうちにやらないといけなことはない?」「今まで一番工期の長かった現場は?」等々、学生からコーディネーターへの積極的な質問が次々に続き、時間が足りなくなるほどでした。

最後に学生の代表4名からの挨拶では「今回のイベントで港湾という分野にすごく興味を持ったので、チャレンジしたい」「今日学んだことを就職活動に活かしたい」等々、建設界に展望の持てる感想がありました。今後、学生の皆さんが建設界の魅力や技術者の仕事に理解を深め、将来の担い手となってもらえることを期待しています。

*建設界：建設に関する発注者・受注者の総称



各学校の代表が感想をのべる様子



[2016年 秋号 Vol.46]



「港の元気は福井の元気」「地元の貨物は地元の港から」

目次

- 将来の建設界を支える担い手へ(福井港海岸) **P1**
- 野神郷土史研究会の皆さんが敦賀港を見学しました **P2**
- 敦賀市の赤崎小学校5,6年生3名が敦賀港を見学しました **P3**
- 将来の建設界を支える担い手へ(敦賀港) **P3**
- 敦賀港にクルーズ客船が寄港しました **P4**
- 平成28年度敦賀港湾事務所合同安全大会を開催しました
- 平成27年度完成優良工事等の事務所長表彰式を行いました

◆野神郷土史研究会の皆さんが敦賀港を見学しました◆

平成28年7月26日(火)、敦賀市の野神郷土史研究会の皆さんによる港の見学を行いました。

野神郷土史研究会は、敦賀市野神地区の地誌の調査研究と敦賀市の発展に寄与することなどを目的に平成26年に設立されました。郷土の調査研究の一環として、敦賀港の施設や役割などを学ぶ目的で研究会の役員と野神地域の皆さんあわせて19名の方々が見学会に訪れました。

あいにくの雨模様のため港湾業務艇「まつかぜ」の船上からの視界はあまり良くありませんでしたが、当所西田保全課長による岸壁や防波堤などの港湾施設の説明に参加された皆さんは熱心に耳を傾けていました。

港内を離れ、敦賀湾の東浦から西浦を回る航行の途中では、研究会の事務局の方による「人道の港敦賀」のお話や敦賀の郷土を歌った「命のビザ」「来い来い敦賀」などをCDで披露されていました。

見学会の最後には、船長はじめスタッフに暖かい拍手が送ら

れ、1時間半ほどの見学会は無事に終了しました。

来年には、郷土史をまとめた冊子を発行されるとのことで、今回の見学会が郷土史発行の一助になればと思います。



船内の様子

◆敦賀市の赤崎小学校5,6年生3名が敦賀港を見学しました◆

平成28年9月9日(金)、敦賀市立赤崎小学校の5,6年生全児童3名による敦賀港総合学習を開催しました。赤崎小学校は、敦賀港からほど近く、学校から敦賀湾が見渡せる場所にある全校児童10数名の小さな学校です。

国土交通省港湾局が作成した小学生のための港湾学習教材「港の大研究」をきっかけに、近くにありながら普段あまりなじみのない敦賀港が総合学習のテーマとして選ばれました。敦賀市の玄関口である敦賀港の歴史と役割、これからの港を考え敦賀港の認識を高めるための総合学習「敦賀港まちづくり学習」です。今回は、そのスタートとして、当所職員による港の講義、港湾業務艇「まつかぜ」による港内見学を行いました。



講義の様子

教室で行われた当所室課長の講義では、日本の港の役割、敦賀港の歴史や役割、施設の重要性などを勉強しました。児童からは「港ではなぜ工事をしているのか学習したい」との声もあり、港湾整備にも少し関心を持ってもらえたようでした。港湾業務艇「まつかぜ」による港内見学では、講義で聞いた施設を目の当たりにして「防波堤の長さは?」「コンテナは一度に何個積めるの?」と船上から見る岸壁や防波堤にとっても興味を示していました。

今後、学校の授業として敦賀港の歴史や役割などを児童自ら勉強し、11月5日に総合学習のまとめとしての発表会が行われるそうです。今回の総合学習を手始めに児童らがどのように敦賀港を勉強し、そして発表するのかとても楽しみです。



港内見学を終えての記念撮影

◆将来の建設界を支える担い手へ(敦賀港)◆

～武生工業高等学校の生徒を招いて、現場見学と意見交換会を開催～

平成28年9月16日(金)に、当事務所及び東洋建設(株)の主催、(一社)日本埋立浚渫協会北陸支部及び福井県港湾建設協会との共催で、

- ①建設産業の魅力発信
- ②建設技術の理解と誇り
- ③担い手としての期待と業界への定着

を目的として、福井県立武生工業高等学校の都市・建築科2年生(33名、引率先生3名)を招いて、現場見学と意見交換会を開催しました。



意見交換会の様子



船内の様子



座学の様子

当日は、座学→映像の視聴→現場見学及び意見交換(2班に分かれ、交互に実施)のスケジュールで行いました。

座学では、港の役割や敦賀港の概要及び建設業における技術者の関わりを当所職員と建設技術者が説明し、その後、昼食をとりながら、港湾工事現場で働いている様子と建設会社及び社員へのインタビュー映像を視聴しました。

その後、意見交換会と現場見学の2班に分かれ行い、意見交換会では、学生の皆さんから、建設業の良いところや、現場作業中での失敗談などの質問があり、それについて分かりやすく回答しました。

現場見学では、港湾業務艇「まつかぜ」に乗船し、敦賀港の沿革や各種施設及び利用船舶、港湾工事と技術者の関わりを説明しました。

これらの意見交換会を通して、学生の皆さんに建設業の魅力や建設技術者の仕事に理解を深めてもらい、将来の業界の担い手となってもらえることを期待しています。

◆敦賀港にクルーズ客船が寄港しました◆

平成28年8月1日(月)、「ばしふいっくびいなす」の出港イベントが開催されました。

このクルーズ船は、秋田の竿灯まつりと青森のねぶた祭を観覧するもので、関西や中京から約450名の方々が乗船されました。



テープ投げでお見送り

岸壁では「ジェリービーンズ」という市内のダンスチーム、2018福井しあわせ元気国体のマスコット「はぴりゅう」や市民のみなさまが盛大に見送りました。



吹奏楽部の演奏と「はぴりゅう」